

県内外200人が「夢の一日」満喫

第4回宮崎トロンボーンフェスティバル in のべおか

指導や演奏、試奏も好評

「第四回宮崎トロンボーンフェスティバル in のべおか」が四日、延岡総合文化センターであった。さまざまなメーカーの楽器を吹き比べでき、プロ奏者から指導が受けられ、演奏が聴けて演奏もできるという、まさにトロンボーン吹きのための一日。今年も県内外から約二百人が訪れた。同実行委員会（松原正幸実行委員長、十六人）主催。

柔らかく華やかな音色響く

多彩な内容、リピーター増える

スペシャルゲストは小田桐寛之さん（東京都交響楽団首席奏者）と近藤孝司さん（大阪センチュリー交響楽団首席奏者）。レギュラー講師として宮崎市出身の郡恭一郎さん（シエナ・ウイン）とトロンボーン奏者ド・オーケストラ奏者と同村田秀文さん（ロイヤルチェンバオーケストラ首席奏者）、司会にUMKアナウンサーの佐々木華さんを迎えた。小田桐さんと近藤さんから二対一で指導を

受ける個人クリニック（講習会）には、鹿児島県の中学生、宮崎市の高校生、延岡市出身の学生二人の計四人が臨んだ。

楽器を持ってくれば誰でも参加できる全体クリニックには五十一人が参加。村田さんが、口だけで音を変える「リップスラー」や三連符の演奏のこつを伝授した。

コンサートは独奏から十六重奏までオールトロンボーンプログラムで、プロとアマチュア計四十人が出演。来場者たちは「柔らかく華やかなプロの音色にうっとり」と聞き入り、力強いアンサンブルに盛大な拍手を送った。

ロビーには国内外のメーカーの楽器三十二種が並び、来場者は持参したマウスピースを付けて試奏した。今年初めて村田さんによる解説もあり、「メーカー

51人が参加した全体クリニック。大ホールのステージ上で指導を受けた



プロ奏者の演奏は来場者を魅了した（トロンボーン・小田桐寛之さん、ピアノ・浜月春佳さん）



「この特徴がよく分かる」と好評だった。多種の楽器を試し吹

きした宮崎北高三年の渡辺祥吾君と迫田圭棟（けいすけ）君はこのフェスティバルは、トロンボーン吹きにとって夢のような企画です」と満足そう。渡辺君は初回から毎年参加しており四回目、迫田君は二回目、「何度来てもいい」と声をそろえた。

アンサンブルクリニックを受けた延岡市南中の磯崎由美子さん（三年）、吉田旺世（あきよ）さん（同）、久保崎汐里さん（二年）は

「これまで意識したことのない部分を指導してもらえた」とい

い、「このフェスティバルでは、楽団の中では目立たないトロンボーンだけを取り上げてもらえるのうれしい」と話した。

同フェスティバルは、楽器や楽譜を手にとって選ぶという都会では当たり前のことが地方ではできないため、年

に一日ここに来れば何でもそろっている状況を「つくる」と、県北地区のトロンボーン奏者たちが三年前から始めた。

「鹿児島熊本、大分など県外から参加してくれるようになり、少しずつですが浸透してきたと感じています。一度来てくれた人がまた来てくれることがうれしい」と松原実行委

員長。第五回は来年五月に開催すると決めている。

実行委員会は、トロンボーンだけのアンサンブルグループ「Baragumi（ばらぐみ）」としても活動しており、仲間を募っている。高校生以上が対象。問い合わせは事務局の古川浩さん（宮延岡33・6080）へ。



フィナーレの全体合奏では、70人のトロンボーン奏者が大集合。「ロンドンデリー・エアー」でフェスティバルを締めくくった

展示された楽器の特徴を説明する村田秀文さん



展示楽器を試し吹きする来場者たち

